



# Intuit が世界規模の従業員向け 給与計算サービスを ADP の シングルプラットフォームで実現



Intuit は、主に個人や小規模ビジネスのニーズに応えるグローバルカンパニーです。小規模企業のキャッシュフローの予算立てから顧客開拓にいたるまで、あらゆるものに対応します。

その最たるものが QuickBooks、TurboTax、MailChimp、Credit Karma といった製品で、中規模ビジネスにも対応しています。

Intuit の給与計算担当グローバルリーダーをつとめる Scott Tuskiewicz 氏は次のように述べています。「設立 40 年で前年比成長率 20%を目指す企業はそう多くないと思うのですが、私たちはその点にこだわっていました。世界で成功を収める力を手に入れる方法を模索していたのです。」

## 課題

Scott 氏が ADP を採用した理由はいくつかありました。ADP とは 25 年にわたる取引実績がありましたが、それだけでなく「対象となる国への適応、つまり法規制、コンプライアンス、煩雑さに対する理解が決め手となった」と同氏は述べています。

Intuit 最大の課題は、9 か国で必要となる導入のスピードでした。それぞれの国がまったく異なるシステムを使っていたのです。給与計算の規模、従業員の数、運用しているシステム、統合の有無、手作業によるプロセスの内容を具体的に説明できる人はいませんでした。

## Intuit の目標

目指したのは、このすべてを 1 つのプラットフォームにまとめることでした。次のような内容を基準としました。

## 概要

企業名: Intuit

本社: 米国カリフォルニア州マウンテンビュー

業界: グローバル財務ソフトウェア

従業員数: 18,200 人

製品: ADP Global Payroll

Scott Tuskiewicz 氏

給与計算担当グローバルリーダー、Intuit

「ADP の独自性により、Intuit は世界のいたる場所で給与計算を提供できるようになりました。他社を選んでいたら、実現できなかったでしょう。」

### Scott Tuskiewicz 氏

給与計算担当グローバルリーダー、  
Intuit

- 現在の状況を可視化して、世界規模の給与計算を実現する
- 前後の給与を比較分析し、従業員がリアルタイムでデータを見られるようにする
- 従業員とのリアルタイムコミュニケーションや最新のお知らせを可能にする
- 給与計算、サービス提供、給与計算の主要ベンチマーク(給与計算の誤り率、給与明細あたりのコストなど)に関するデータをグローバルに把握できるようにする

Scott 氏は次のように述べています。「世界規模の給与計算とその運用の成否の判定は明確な指標がないと非常に困難です。指標を測定できなければ、アウトプットを測定して成否を判断できません。例えば給与計算の誤り率に着目すると、当社の誤り率はだいたい 3~4%あたりで推移していました。この数字をみて「十分だ」と思うかもしれませんが、実際そうではありません。」

「統計的にみて、従業員が給与計算の間違いに 2 回遭遇したら、そのうち 43%は別の仕事を探し始めます。組織において、給与計算以上に重要な業務はありません。この点をしっかり理解しておくことが肝心です。」

## ADP と Intuit の連携

Intuit では、Scott 氏が陣頭指揮をとり、同氏の「パートナー」と連携することを方針としています。ここでのパートナーとは、財務から人事まであらゆる担当者を指し、法務のパートナー、福利厚生パートナー、ストックプランの管理パートナーなどが含まれます。

同氏は「ADP は給与計算、とりわけグローバルな給与計算に対し、独自の視点と方法をもたらしてくれています」と述べています。

「コンプライアンスの観点からみると、法規制への非準拠や何らかのトラブルの発生をおそれることなく、どの国でも給与計算を行えるようになりました。法規制の把握、システムの運用方法、 社会保険料や所得税と住民税のための標準報酬月額や標準賞与額の算定など、さまざまな局面で ADP に助けられています。いずれも、まさに ADP が得意とする分野です。」

Scott 氏はさらに続けます。「何よりも、ADP のグローバルな給与計算ソリューションなら、ほぼすべての国で給与計算業務を遂行できます。実際のところ、Intuit のグローバルリーダーである私や他の誰かが世界各国のルールや法規制をあまねく把握するのは現実的ではありません。私には頼れるパートナーが必要で、ADP はまさにうってつけなのです。」

## 知見

「何も連絡がなかった、ということが成功の指標となります」と Scott 氏は言います。「わざわざ「給与小切手を手配してくれてありがとう」と電話をかけてくる人はいません。給料日にかかってくるのは、問題があった、給与が間違っている、本来の時間分が払われていないといった苦情の電話です。」

こうした状況は ADP Global Payroll への移行で一変したと同氏は説明します。「問題が寄せられなくなりました。そしてこれが、導入に際して結成した社内対応チームの成果であり、私たちが連携した ADP のチームの成果でもあります。まさしく、問題がゼロになったのです。」

同氏は続けます。「予想だにしませんでしたが、これが携わった人たちの成果です。責務を理解し、果たすうえでの献身的な姿勢と高い当事者意識の現れと言えるでしょう。32 年間で導入したシステムの数も 10 を超えるでしょうが、今回のようにうまくいったケースはありませんでした。」

## 人事トランスフォーメーションの取り組みにおける次のステップ

給与計算の面でグローバルプラットフォームを手に入れた Intuit。次なるステップは、データを分析して現在処理している内容や進捗状況を把握し、業界全体のその他の指標に照らし合わせてベンチマークを実行できるようにすることです。

Scott 氏は次のように語っています。「昔は給与計算といえば、よく知られたボタンを押して小切手を引き渡していました。今は、そういったものではありません。給与計算はいわば人的な面、サービス提供としての側面が強くなっています。私たちはサービス部門であり、きわめて高い水準を掲げています。従業員が請求書を支払い、家族を養い、日々の暮らしを成り立たせ、今やっていることを楽しんでできているかについても話します。これらすべての中心、根源となるのが、給与計算のサービス提供なのです。」

また「つまり、こうした点を踏まえてデータに注目することが今後きわめて重要となります」と続けます。

両社がパートナーとして培ってきた経験は Intuit に非常にプラスとなっている、と Scott 氏は結論づけています。「非常に素晴らしい経験が得られているだけでなく、ADP Global Payroll を通じて提供できるようになった各種ツールについても励みになるフィードバックをいただいています。ADP との関係は今後も続きますがそれ以上に、開発の面では次世代ツールの活用があります。私のチームには、AI の作業を担当する自動化チームもいます。こうした能力を十分に活用するつもりです。今後こうしたツールを活かして ADP と連携していく必要があります。」

「現在まで話を進め、給与計算の誤り率をみてみましょう。今は 0.2%あたりとなっており、私としては十分な数字です。ですが世界規模では十分とは言えません。1 人ひとりに給与が正確に支払われ、すべての給与計算において従業員の期待を満たすようにしたいのです。」

### Scott Tuskiewicz 氏

給与計算担当グローバルリーダー、Intuit



Always Designing  
for People®

ADPおよびADPロゴはADP, Inc.の登録商標です。  
他のすべての商標はそれぞれの所有者の知的財産です。Copyright © 2026 ADP, Inc.

WF3466402

INTUIT